

20歳の大役 参加することで 得られた絆

しままき しょうご
島巻 様子さん(赤岡町出身)

平成27年度から始まった新成人企画による「香南市成人式」。数年前から「成人式を自分たちで企画してもらっては？」という意見が上がっていたのが、昨年度実現しました。
一生に一度の記念となる行事を、受け身でなく自分たちの意思でやりとげた今年度の実行委員長島巻様子さんにお話を伺いました。

担当／広報編集委員 田中たい子



島巻様子さん

突然の電話

昨年4月、島巻様子さん(20)の携帯電話が鳴った。

「香南市教育委員会です。成人式の企画実行委員会に参加してくださいませんか？」という内容のもの。
赤岡町で高校2年生まで過ごし、今年成人を迎えた島巻さんは、8人兄弟の3番目。「にぎやかな中で育ったから人とコミュニケーションをとるのは好き。すぐ引き受けました。でも看護学校に通いながらの打ち合わせ、準備は結構大変でした」と、当手を振り返る。実行委員長という立場でリーダーとしての仕事も引き受けた。

がむしゃらに

各地域から選ばれたメンバーは12人。常に活動のために集まっていたのは4~5人だった。

「全体の流れは、事務局(生涯学習課)が決めてくれたので、自分たちができることは、成人式でどんなことをするのか?ということ、挨拶文、答辞の内容を考え、予算内の記念品を決めること。お世話になった先生のビデオメッセージの撮影、歌の練習でした」。委員同士の連絡が取れず、人集めに苦しみながらも短い準備期間の忙しさを突っ走った。

感動の本番当日

「本番では実行委員会のメンバー11人が壇上に上がりました。そのせいか、委員たちが練習した歌を壇上で歌い始めると、会場みんなが一緒に歌ってくれてびっくり。客席との一体感が生まれました」。事務局によると新成人企画の成人式をひと目見ようと、家族の見学も今までと比べてずいぶん増えたという。

「自分たちで企画といっても、ほとんどは事務局の方にお膳立てしてもらっていたので、なんとなく物足りない感じでした。回を重ねるごとに、新成人が新しい発想で自由に企画を提案できる成人式になっていけばいいなと思います。ただ参加するだけの成人式だったら、感動は半分。自分たちの手でやりとげたことは、自分にとってすごく貴重な経験。新しい友達もできたり、楽しかった。今から『こんな成人式にしたい』という思いがあればやってほしい」。島巻さんの顔には、大仕事をやりとげた達成感とこれからの夢への期待が溢れていた。20歳の若者たちが、新しい世界に向かって今飛び立とうとしている。



会場展示のための準備

市役所で記念撮影
をしませんか?



香南市で出生届や婚姻届を提出される方に、市役所からお祝いの気持ちを込めて「メモリアルボード」を本庁に設置しました。佳き日の記念撮影にぜひご利用ください。

設置場所：市民保険課(窓口で職員にお声がけください)
利用時間：8時30分~17時15分
注意事項：
・カメラはお持ちください
・ボードの持ち出しはできません
市民保険課 ☎57-8506

《広報へのメール》
kouhou@city.kochoi-konan.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochoi-konan.jp

マチイロ
スマホで
広報を見よう
「広報紙」はアプリ名称が「マチイロ」になりました。